

第6学年 社会科学学習指導案

指導者 樋山 裕則
藤原 涼太郎
岡部 順一郎

1 小单元名 「わたしたちの願いを実現する政治」

2 小单元の目標

○我が国の政治の働きについて、政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、見学・調査したり各種の資料で調べたりしてまとめることができる。

○国や地方公共団体の政治の取組を捉え、国民生活における政治の働きを考え、表現することを通して、国や地方公共団体は、国民主権の考えの下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解することができる。

○学習問題について主体的に追究・解決しようとしている。

3 小单元の観点別評価規準

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどについて見学・調査したり統計などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、地方公共団体の政治の取組について理解している。 調べたことを図表や文などにまとめ、国や地方公共団体の政治は、国民主権の考えの下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 政策の内容や計画から実施までの過程、法令や予算との関わりなどに着目して、問いを見だし、国や地方公共団体の政治の取組について考え、表現している。 国や地方公共団体政治の取組と国民生活を関連付けて、国民生活における政治の働きを考え、適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。 学習したことを基に、政治への関わりや社会の担い手としての意識などについて、考えようとしている。

4 小单元の指導計画（全7時間）

時	主な学習活動	授業改善のポイント
1	○東日本大震災の資料から、どのような被害があったのかを知り、人々の願いについて考える。 ○学習問題を立てる。	
2	○学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てる。	
3	○被災した人々に対する緊急の支援は、どのように行われたのか調べる。	
4	○緊急支援や災害復旧に向けて、どのように連携していたのか調べる。	
5	○災害復旧・復興に向けて、どのように行われていたのか調べる。	
6	○調べたことをもとに、友達と話し合い、学習問題についての自分の考えをまとめる。	
7 (本時)	○新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、どのような政策・支援が必要か、公約を決めることができる。	
8	○考えた政策を発表することで、政策が身近であることを捉える。	

1 / 8 時間目

本時の
目 標

- ・東日本大震災で被災した人々の思いや願いから問いを見だし、学習問題を立てることができる。

本時の
評 価

- ・東日本大震災で被災した人々の思いや願いから問いを見だし、学習問題を立てている。

めあて

東日本大しん災では、どのようなひ害がもたらされたのだろう。

写真A

写真B

東日本大しん災

- ・2011年3月11日
- ・最大しん度7のゆれ
- ・10m以上のつ波
- ・死亡者1万9000人以上
- ・全かい家屋12万戸以上
- ・ひ難者約47万人
- ・原子力発電所の事故
放射性物質が放出

写真C

写真D

写真E

写真F

ひ災した人たちの願い

- ・食べ物や生活に必要な物がほしい。
- ・安全に過ごすことのできる所で暮らしたい。
- ・行方不明になった家族をさがしてほしい。

- ・まちを元通りにしてほしい。
- ・学校を再開して、勉強できるようにしたい。
- ・港を直して、早く仕事を再開させたい。

- ・今後は、つ波に強いまちにしたい。

→一人の力ではむずかしい

学習問題

災害が起きた時、だれがどのように対策・支えんをするのだろう。

授業改善のポイント



興味や関心を高める

写真や資料を基に、被害の大きさに気付かせ、被害者の願いと関連させながら、児童の問いを引き出す。



互いの考えを比較する

写真や資料を基に調べたことや考えたことを話し合うことで、被災した人々の願いを具体的に考えることができるようにする。

①つかむ

- 本時の課題を確認する。
- ・この単元で学習する内容についての見通しをもたせる。
- ・児童の心理面に配慮しながら、東日本大震災の資料から被害の大きさをつかませる。

②考える

- 被害の状況について、資料を基に調べ、被災した人々の願いについて考える。
- ・資料から、被害の状況や被災した人々の願いを想像し、ノートに記述させる。

③学び合う

- 被災した人々の願いについて、グループで話し合う。
- ・ホワイトボードを用いて、自分が資料から調べたことや考えたことを説明する、友達の考えと比較する、意見を分類する活動を通して、多角的に考えられるようにする。

④まとめる

- 被災した人々の願いについて、全体で話し合う。
- ・出た意見をグループごとに発表し、全体に意見の共有をする。
- 全体から出てきた意見から学習問題を作る。
- ・出された意見を整理しながら、学習問題を作る。

⑤振り返る

- 学習感想を書く。
- ・本時の学習から分かったこと、さらに知りたいこと、新たな疑問などの視点を与えて振り返りを書かせ、次の学習へとつなげる。
- 次時の学習を確かめる。

2 / 8 時間目

本時の
目 標

・災害復旧の取組における政治の働きについて、予想や学習計画を立てることができる。

本時の
評 価

・災害復旧の取組における政治の働きについて、予想や学習計画を立てている。

めあて

学習に対する予想を考えて学習計画を立てよう。

写真C

写真D

写真E

写真F

予想

資料	だれが	どのように
	自衛隊	給水、給食、入浴支えん
	市	ひ難所設営、仮設住宅
	日本赤十字社	医りょう活動
	消防・警察	そうさく、救護活動
	ボランティア	たき出し

学習計画

3時間目	災害後すぐに行われたこと (きん急支えん)
4時間目	支えんのつながり(連けい)
5時間目	災害後、長く続けること(復興)
6時間目	学習問題についてまとめる

調べる方法

- 社会科の教科書・資料集
- インターネット
- 「3.11を忘れない」

学習感想

- どのような人たちがどのようなことをして、被災した人たちを支えんしたのか早く調べたい。

授業改善のポイント



見通しをもって粘り強く取り組む

写真や資料を基に、災害復旧に向けた対策・支援についての予想し、学習計画を立てることで、意欲的に課題を解決できるようにする。



互いの考えを比較する

写真や資料を基に、対策や支援についての予想を話し合うことで、具体的に考えることができるようにする。

①つかむ

- 前時の学習を想起する。
 - ・掲示物や前時のノートを振り返らせる。
- 本時の学習について確かめる。
(単元を通して、学習問題が確認できるように、教室内に掲示する。)

②考える

- 東日本大震災に関する資料を基に、学習問題に対する予想を考える。
- ・予想を考えさせる際、既習事項や生活経験から予想を考えさせた場合は、机間指導で、根拠を書くように促す。また、「だれが」「どのような」という視点を与え、記述させる。

③学び合う

- 対策や支援について考えた予想をグループで話し合う。
- ・ホワイトボードを用いて、自分が考えた予想を説明する、友達の考えと比較する、意見を分類する活動を通して、多角的に考えられるようにする。

④まとめる

- 対策や支援についての予想を全体で話し合う。
- 全体から出てきた意見から学習計画を立てる。
- ・出された意見を整理し、キーワード化する。それを視点として調べ、確かめていくことで、学習問題を解決していくことを確認する。

⑤振り返る

- 学習感想を書く。
 - ・本時の学習から分かったこと、さらに知りたいこと、新たな疑問などの視点を与えて振り返りを書かせ、次の学習へとつなげる。
- 次時の学習を確かめる。

3 / 8 時間目

本時の
目 標

・災害発生時には、様々な人々や関係機関等がそれぞれのできる支援や復旧のための取組を行っていることを理解することができる。

本時の
評 価

・災害発生時には、様々な人々や関係機関等がそれぞれのできる支援や復旧のための取組を行っていることについて理解している。

めあて

被災した人々の願いはどのようにかなえられるのだろう。

資料
新聞記事

資料
新聞記事

ボランティア

地域の人

医者・看護師

岩手県

国

ほかの都道府県

海外

まとめ

・災害が起きたすぐ後は、多くの人々がそれぞれの立場でできることを行っていた。

調べたこと

自衛隊

警察・消防

電気・ガス会社など

学習感想

○ひ災の願いをかなえるためには、それぞれどのように協力・連携していたのだろう。

授業改善のポイント



互いの考えを比較する

調べたことを、ポイントに沿ってまとめ比較することで、課題解決につなげる。



思考して問い続ける

分かったことから、新たな課題を見いだすことで、次時への意欲につなげる。

①つかむ

○学習課題をつかむ

- ・精選した資料（新聞記事）を提示する。
 - ・調べる視点を示す。
- （単元を通して、学習問題が確認できるように、教室内に掲示する。）

②考える

○資料から情報を収集し、ノートにまとめる。

- ・調べる際には、視点に沿って簡潔にノートにまとめるように伝える。
- ・精選した新聞記事の資料を配付する。新聞記事の資料の読み取りが終了した児童には、教科書、資料集の活用も促す。

③学び合う

○調べたことを情報共有し、課題解決に向けて意見を交換する。

- ・個人発表、情報共有し、学習したことを確認した後、次時の学習につながる発問を行い、話し合わせる。

④まとめる

○学習したことをまとめる。

- ・分かったことをノートにまとめさせる。

⑤振り返る

○学習感想を書く。

- ・本時の学習から分かったこと、さらに知りたいこと、新たな疑問などの視点を与えて振り返りを書かせる。
- ・学習問題、学習計画を意識して次時に調べることをノートに記入させる。

4 / 8 時間目

本時の
目 標

- ・緊急支援や災害復旧・復興には法令や予算が関係しており、それには議会の働きが関係していることを理解することができる。

本時の
評 価

- ・緊急支援や災害復旧・復興には法令や予算が関係しており、それには議会の働きが関係していることを理解している。

めあて

きん急支えんや復旧はどのように連携いされて取組まれていたのだろう。

- ・東日本大しん災の事例を基に調べ、ノートにまとめる。

教科書 p.51

「被災した地域を支援する政治のしくみ」の図を板書する

調べたこと

- ・自衛隊は国の派けん要せいがある活動されていた。
- ・ひ災した岩手県だけでなく、他の都道府県とも連携していた。
- ・医りょう活動は都道府県から業務委たくされていた。

まとめ

きん急支えんや復旧は、国や地方公共団体による取組と法令が関わって連携している。

学習感想

- 電気会社などは無しよで支えんできるのだろうか。
- 仕事ができなくなってしまった人はこの後どのように生活できるようになったのだろう。
- 支えん・復旧にはお金が必要だが、それはだれが、どのようにして使われているのだろう。

授業改善のポイント



先哲の考えを手がかりにする

具体的事例から調べまとめることで、社会的事象の課題を自分ごととしてとらえる。



思考して問い続ける

分かったことから、新たな課題を見いだすことで、次時への意欲につなげる。

①つかむ

- 学習課題をつかむ
- ・本時の学習のポイントを押さえる。
(単元を通して、学習問題が確認できるように、教室内に掲示する。)

②考える

- 資料から情報を収集し、ノートにまとめる。
- ・東日本大震災で行われた緊急支援がどのように連携して行われたかを、具体的な事例を基に調べるように伝える。

③学び合う

- 調べたことを情報共有し、課題解決に向けて意見を交換する。
- ・個人発表、情報共有し、学習したことを確認した後、次時の学習につながる発問を行い、話し合わせる。

④まとめる

- 学習したことをまとめる。
- ・分かったことをノートにまとめさせる。

⑤振り返る

- 学習感想を書く。
- ・本時の学習から分かったこと、さらに知りたいこと、新たな疑問などの視点を与えて振り返りを書かせる。
- ・学習問題、学習計画を意識して次時に調べることをノートに記入させる。

5 / 8 時間目

本時の
目 標

- ・国や地方公共団体等がどのように連携して緊急支援や災害復旧・復興の取組を行うかについて理解することができる。

本時の
評 価

- ・国や地方公共団体等がどのように連携して緊急支援や災害復旧・復興の取組を行うかについて理解している。

めあて

復興は、どのように行われているのだろう。

税金の働き

国民 → 国・都道府県・区市町村
→ 健康で文化的な生活

教科書 p.53

「復興に向けた市の計画ができるまで」
の図を板書する

調べたこと

- ・東日本大しん災では、「東日本大しん災復興基本法」という法律が制定された。
- ・復興庁が期間を決められて設置されている。
- ・予算は5年で約26兆円と決められた。
- ・予算を決める話し合いの会に国民が参加できる。
- ・予算を決める議会に参加する議員は国民の選挙で選ばれる。

まとめ

- ・復旧や復興のための取組には、思っていたより、国民の願いが取り入れられていた。
- ・復旧や復興のためには様々な立場の人が協力し合いする必要がある。

授業改善のポイント



知識や技能を習得し、活用する

獲得すべき知識を押さえた上で、具体的な資料を基に調べることによって、より課題解決につなげる。



思考して問い続ける

分かったことから、学習問題を振り返り、課題解決に向けて、自分なりの考えをもつ。

①つかむ

- 学習課題をつかむ
- ・調べる視点を示す。
(単元を通して、学習問題が確認できるように、教室内に掲示する。)

②考える

- 資料から情報を収集し、ノートにまとめる。
- ・調べる際には、視点に沿って簡潔にノートにまとめるように伝える。
- ・基本的な議会の流れを学習し、今回の題材（東日本大震災）では実際どのような取組が行われたかを考えさせる。

③学び合う

- 調べたことを情報共有し、課題解決に向けて意見を交換する。
- ・自分にも起こりうるということを意識して、自分なりに考え、それを個人発表、情報共有させる。

④まとめる

- 学習したことをまとめる。
- ・分かったことをノートにまとめさせる。

⑤振り返る

- 学習感想を書く。
- ・本時の学習から分かったこと、さらに知りたいこと、新たな疑問などの視点を与えて振り返りを書かせる。
- ・学習問題を意識して振り返り、ノートに記入させる。

6 / 8 時間目

本時の
目標

- ・国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて、国民生活における政治の働きを考え、適切に表現することができる。

本時の
評価

- ・国や地方公共団体の政治の取組と国民生活を関連付けて、国民生活における政治の働きを考え、適切に表現している。

めあて

調べたことをもとに、学習問題についての自分の考えをまとめよう。

緊急の支援

- ・食料・水の確保

関係機関の連携

復興への取り組み

公助 国や都道府県、市区町村が進める取り組み。

共助 地域の人々の助け合い。

自助 自分や家族を守る。

まとめ

・東日本大しん災が起きたとき、自衛隊や日本赤十字社など、様々な人が復旧・復興に向けて取り組んだ。それは、政治のはたらきで連携していた。

・東日本大しん災からの復旧や復興において、国・県・市は法律を制定したり、予算を執行したりするなどして、計画的に地域の再建や人々の生活の安定を図る取り組みを行っている。

授業改善のポイント



互いの考えを比較する

自分のまとめたものと、友達がまとめたものを比較し、考えが多岐にわたることを捉えさせる。



思考を表現に置き換える

今まで学習した内容をまとめ、友達と話し合いながら文章化させる。



自分の思いや考えを結び付け、考えを形成する

話し合い活動を通して、自分の考えを固めさせる。

①つかむ

- 前時の学習を想起する。
 - ・掲示物や前時のノートを振り返らせる。
- 本時の課題を確認する。（単元を通して、学習問題が確認できるように、教室内に掲示する）

②考える

- 学習問題に対するまとめを項目ごとにまとめる。
 - ・今まで学習をした3項目を提示し、それぞれまとめさせる。
 - ・3色の付箋を用意し、それぞれ学んだことを書くよう指示する。

③学び合う

- まとめたことをグループで交流する。
 - ・話し合いの際、意見を出し合うだけでなく、大事だと思うところを各観点一つずつ話し合うよう指示する。
 - ・各グループ、3項目それぞれ、文章でまとめる。

④まとめる

- 新出用語について知る。
 - ・出た意見の中で、公助・共助・自助がどれに当たるか分類させる。
- まとめる。
 - ・本時の学習課題の答えに關係することを板書する。

⑤振り返る

- 学習感想を書く。
 - ・本時の学習から分かったこと、できたこと、感じたことの振り返りを書かせ、次の学習へとつなげる。
 - ・次時は、コロナウイルス感染拡大防止に置き換えて、自分たちで政策を考えることを伝える。

7 / 8 時間目

本時の
目 標

・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、どのような政策・支援が必要か、公約という形式で考えを表現することができる。

本時の
評 価

・新型コロナウイルス感染拡大防止のために、どのような政策・支援が必要か、公約という形式で考えを表現している。

めあて

新型コロナウイルス感染拡大防止の為に、どのような政策・支援が必要か、公約を決めよう

公約宣言を考える

自分たちにできること(自助)

地域で協力して行うこと(共助)

今回は↑ではなく!

国や都道府県が行うこと(公助)

について考える。



自分の公約発表

サイレント・ディスカッションの方法についての図

学習感想

・公約を決めるにあたり、気を付けたことを書きましよう。

授業改善のポイント



先哲の考えを手がかりにする

コロナウイルス感染拡大防止について、様々な対策があることに気付かせる。



自分の思いや考えを結び付け、考えを形成する

コロナウイルス感染拡大防止に必要な政策を考えさせる。

①つかむ

○都知事立候補者として、新型コロナウイルス感染拡大防止について、自分たちだったらどのような政策・支援を行うか事前に考えさせた資料をもとに学習を進めることを知る。
・自分たちにできること(自助)の視点でなく、国・都道府県の政策(公助)の視点でまとめるよう、声かけをする。

②考える

○友達の見解を読み、政策や支援に賛成か、アドバイスをした方がよいか考える。
・友達が考えた政策が、具体的な政策になっているか、その政策を行うと、今後の生活にどのような影響があるかの視点で考えさせる。
・付箋に賛成意見(水色)か、アドバイス(ピンク)を具体的に記入するよう声かけをする。
・付箋は、友達に渡さず、手元に持っておくよう声かけをする。

③学び合う

○意見の交換をする。
・友達の考えた政策が具体的であるかどうか、その政策を行うと、今後の生活にどのような影響があるかという視点で考えさせる。
・付箋に賛成意見(水色)か、アドバイス(ピンク)を具体的に記入するよう声かけをする。

④まとめる

○友達からの意見をもとに、自分の考えを再構築する。
・再構築した政策を書かせる。

⑤振り返る

○次時の活動について知る。
○学習感想を書く。
・「公約を決めるにあたり、気を付けたことを書きましよう。」の視点で学習感想を書かせる。

8 / 8 時間目

本時の
目 標

・調べたことを公約にまとめ発表することで、政治と自分たちの暮らしには強い結びつきがあることについて考えることができる。

本時の
評 価

・調べたことを公約にまとめ発表することで、政治と自分たちの暮らしには強い結びつきがあることについて考えようとしている。

めあて

自分たちの考えた政策を発表しよう。

発表された公約の概要を板書

よかったところ

- 内容が具体的であるかどうか。
- 公約が実現されると、社会全体や生活にどのようなえいきょうがあるか分かりやすい。

まとめ

- ・防災や復興・復旧にも政治が関わっていて、とても身近なものである。

学習感想

- ・学習して感じたこと・学んだこと
- ・将来、自分がどのようなことができるか

授業改善のポイント



互いの考えを比較する

新型コロナウイルス感染拡大防止の中でも、様々な対策や、思いがあることを共有させる。



自分の思いや考えを結び付け、考えを形成する

自分の暮らしを守る為の政策や、自分に何ができるかを考えさせる。



知識や技能を習得し、活用する

学んだことを生かし、自分たちの生活と政治の強い結びつきを感じさせる。

①つかむ

- 前時の考えた公約を発表するという見通しをもつ。
- ・発表する時に、自分たちの思いが届くよう、考えた内容を改めて確認させる。
- ・自分の暮らしがよりよくなる公約を選ぶよう声かけする。

②考える

- 発表を聞き、自分が投票したいものを決める。
- ・より自分たちの暮らしに関わるものを投票するよう声かけをする。

③学び合う

- 発表を聞いて良かったところを出し合う。
- ・主権者側が投票する際、どんなことを考えているかを感じさせる。

④まとめる

- 学習をまとめる。
- ・その他にも「西日本豪雨」などの災害があり、同じように政策・支援が行われていることを伝える。

⑤振り返る

- 学習感想を書く。
- ・「学習して感じたこと・学んだこと」「将来、じぶんができるか」の2つの視点で学習感想を書かせる。